

## 起業家万博にて「JICT 賞」を授与の株式会社シンク・ネイチャーを視察・訪問しました

弊社は、総務省及び国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）が主催する令和5年度「起業家万博」※にパートナー企業として参画し、株式会社シンク・ネイチャー（以下「シンク・ネイチャー」）に対し、「JICT 賞」を授与しました（[お知らせ](#)）。併せて、シンク・ネイチャーは「総務大臣賞」も同時受賞されています。シンク・ネイチャーは、沖縄県の琉球大学発のスタートアップ企業で、生物多様性の定量化・可視化サービスを提供されています。 ※ 起業家万博は、NICT の登録商標です。

この度、総務省の沖縄総合通信事務所と共に、琉球大学施設内のシンク・ネイチャーを訪問し、久保田代表取締役にて起業の背景や事業内容、今後の取組みについてお話を伺いました。

### 1. SDGs を起点とした世界的なネイチャーポジティブの潮流

2015年に国連サミットで採択されたSDGsは、持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。その前提となる自然資本、そしてこれを支える生物多様性の保全はSDGsの目標達成に重要な役割を果たします。これによりネイチャーポジティブが持続的な経済活動の必須条件とのパラダイムシフトがおきました。

一般に持続可能な経済活動といった場合、産業界で先行するのはカーボンニュートラルに向けた取組みですが、これは気候変動が生物多様性喪失の要因でもあり、温室効果ガス排出量を主体とした可視化を通じ、企業の取組みを内外で評価しやすいことも一因です。他方、生物多様性の可視化は必ずしも進んでおらず、琉球大学で自らが担い手となってネイチャーポジティブの実例を作り出そうと研究を進めていた久保田康裕教授はシンク・ネイチャーを起業しました。

現在、企業による非財務情報として開示が定着しつつある気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）と同様、2023年9月に公表された自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）のフレームワークに基づく情報開示が進むことが将来的に見込まれています。シンク・ネイチャーでは、経済活動が我々に豊かさをもたらす一方で、自然にネガティブな影響を与えることを冷静に理解の上、生物多様性の可視化を通じて、企業の情報開示充実に向けた側面支援を実施しています。

### 2. 生物多様性の可視化を通じた企業の事業展開への貢献

シンク・ネイチャーでは、経済活動が自然に与える影響を測定するため、生物多様性の可視化を進めています。まず、学術論文から得た地球上の生物の観測データについて、専用ソフトを用いて緯度・経度を特定します。次に、当該情報に気象情報や野生生物の分布等のデータをAIに学習させ、面的予測を行います。その結果、様々な企業の事業活動が自然に与える影響や、その自然との相互依存関係を多角的に評価することが可能となります。

例えば、食品加工業・アパレル業であれば将来の原材料の採取予測、損害保険業をはじめとする金融業であれば投資先のインパクト分析などを通じ、事業リスクを抽出します。個々の企業の国内・外への生産拠点展開に先立ち、環境へのネガティブな影響をオフセットできるような提案も可能となっています。こうした取組は、地元の理解を得る上でも有益なことがあります。なお、シンク・ネイチャーのアプローチは、データに基づく科学的手法に徹しており、伝統的な環境アセスメントとは一線を画しています。

### 3. 今後の展望

今般、JICT が沖縄総合通信事務所と共にシンク・ネイチャーを訪問し、前述の「起業家万博」でダブル受賞された同社の事業活動への理解を深めることができました。今後も生物多様性の可視化を通じて持続可能な社会づくりに貢献するシンク・ネイチャーの取組みに注目するとともに、JICT としてもサステナビリティ推進の一環として応援して参ります。

#### 【参考】

※ 会社情報

名 称：株式会社シンク・ネイチャー

代表者：代表取締役 CEO 久保田 康裕

所在地：〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地二丁目 2 番 2 号タイムスビル 2F

URL : <https://think-nature.jp/>

※ ネイチャーポジティブとは日本語訳で「自然再興」といい、「自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させる」ことを指します。(環境省 HP)

[ネイチャーポジティブ | ecojin \(エコジン\) : 環境省 \(env.go.jp\)](#)



琉球大学研究室にて、久保田代表取締役（右端）に話を伺う

(問い合わせ先) 株式会社 海外通信・放送・郵便事業支援機構 経営戦略部

TEL : 03-5501-0092 FAX : 03-3593-6770